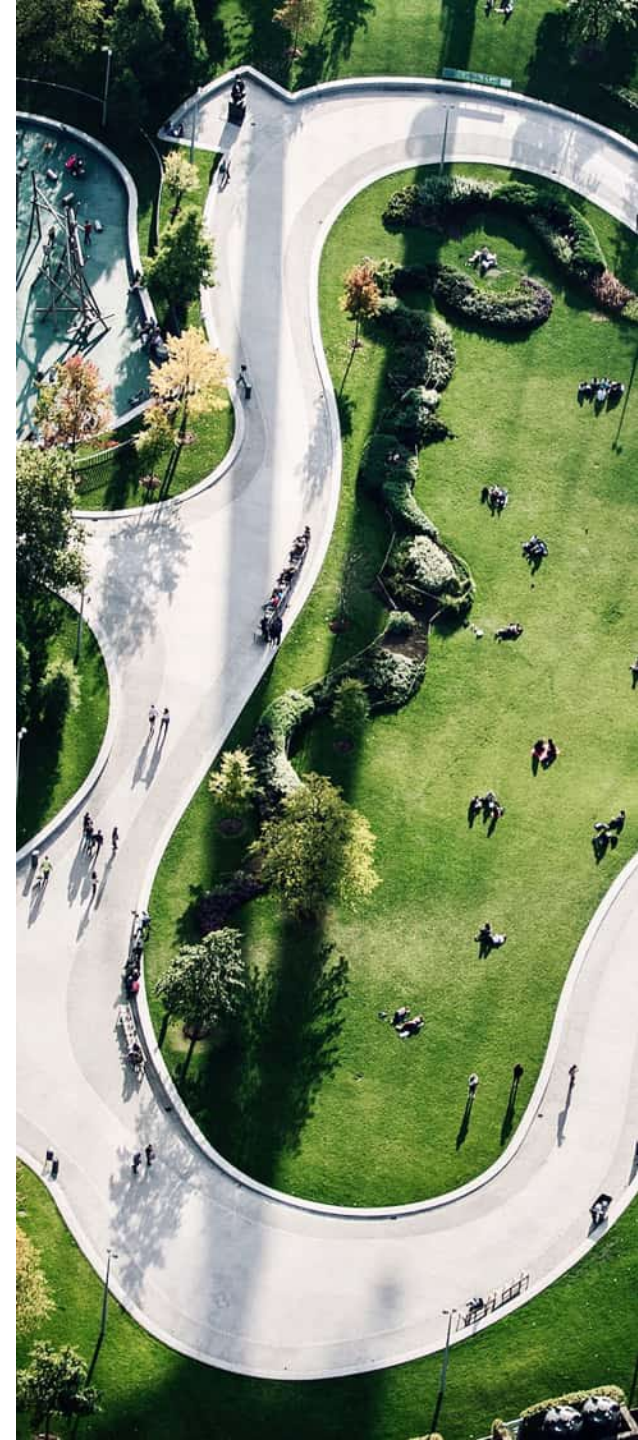


mPLAT/DOPのご紹介

NRI

Management **PLAT**form
mPLAT
powered by **Senju** Family



mPLAT のラインナップ

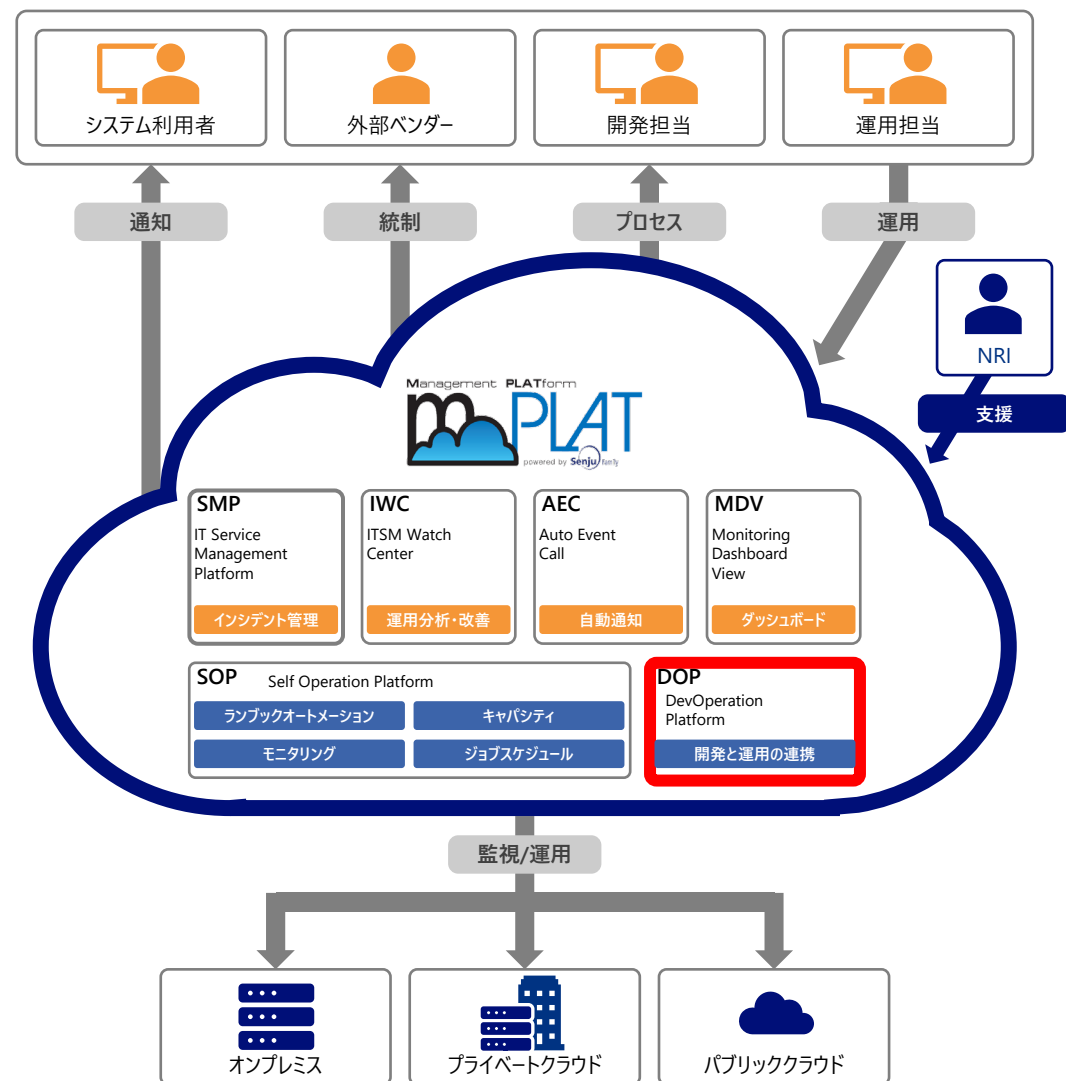
- 「mPLAT」は、「Senju Family」をベースにした、SaaS型運用基盤サービスです

ITサービスマネジメント領域

mPLAT/SMP (IT Service Management Platform)	ITILプロセスを実現するサービスデスク基盤サービス シェアNo.1のサービスデスクツールをSaaS型で提供
mPLAT/IWC (ITSM Watch Center)	サービスデスクに蓄積された情報をNRIのITサービスマネージャが分析し、継続的に運用改善を支援
mPLAT/AEC (Auto Event Call)	監視ツールが検知したアラートを連絡網に従って自動電話にて通知、チケットや対応結果を自動登録
mPLAT/MDV (Monitoring Dashboard View)	システム運用の状況を可視化するダッシュボードサービス、職責ごとに必要な人に必要な情報を提示

システムマネジメント領域

mPLAT/SOP (Self Operation Platform)	監視、ジョブ、キャパシティ管理等、運用に必要な機能をSaaS型で提供。ランブックオートメーション等の自動化機能も充実。各種クラウド連携機能も提供
mPLAT/DOP (DevOperation Platform)	開発担当者が本番環境にアクセスせずに、システム情報を把握。適切な統制/セキュリティを確保しつつスピーディな対応を実現



mPLAT/DOPのご紹介

01

mPLAT/DOP とは

02

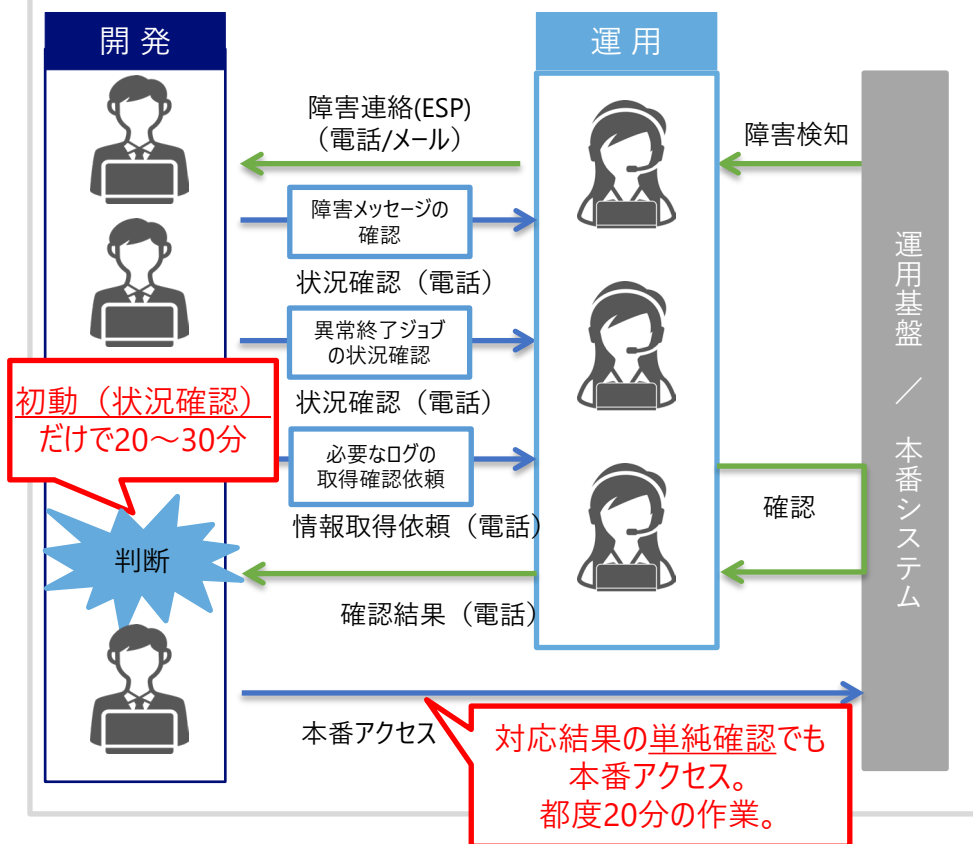
導入効果事例

1. mPLAT/DOPとは

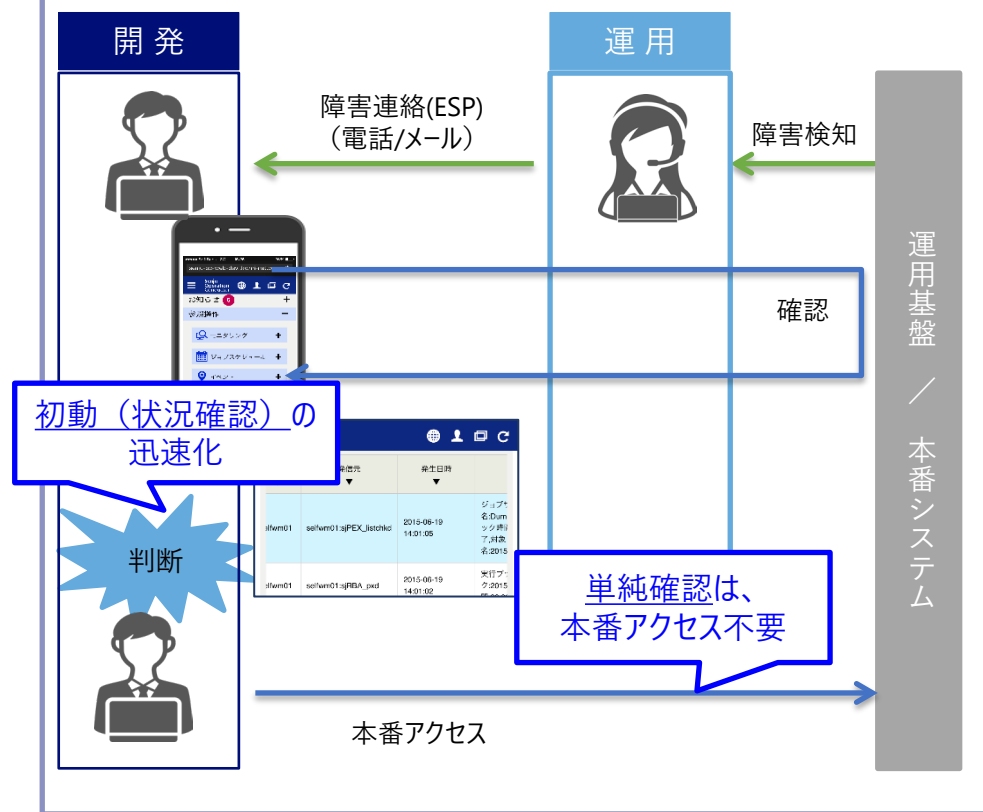
1-1. サービスの概要

mPLAT/DOP（DevOperation Platform）とは、開発部門の担当者が迅速に、**本番アクセスすることなく**システムの状況把握をすることができるサービス。

■ 現状イメージ



■ 導入イメージ

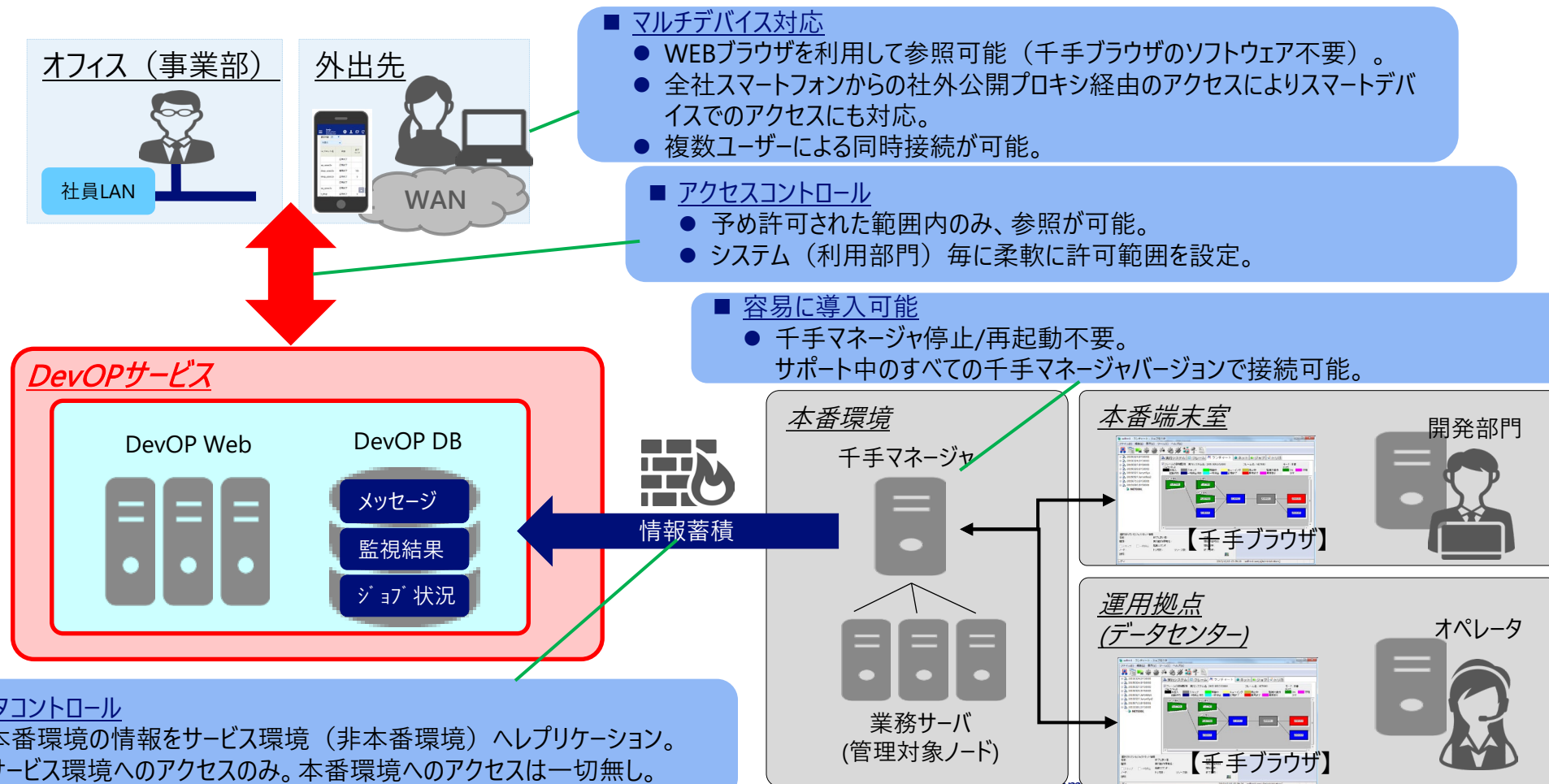


1. mPLAT/DOPとは

1-2. サービスの特徴

■ 主な特徴

- 外出先からのスマートデバイス（iPad、iPhone）によるアクセスにも対応。
- 適切な統制コントロール（アクセスコントロール、データコントロール）。
- 本番環境への影響を与えずに、簡単にサービス利用が可能。（停止や再起動不要。）

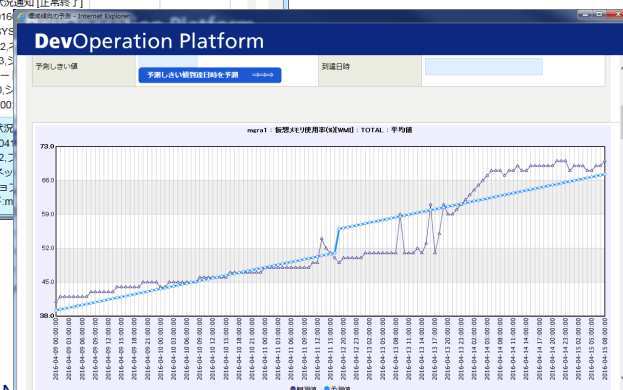
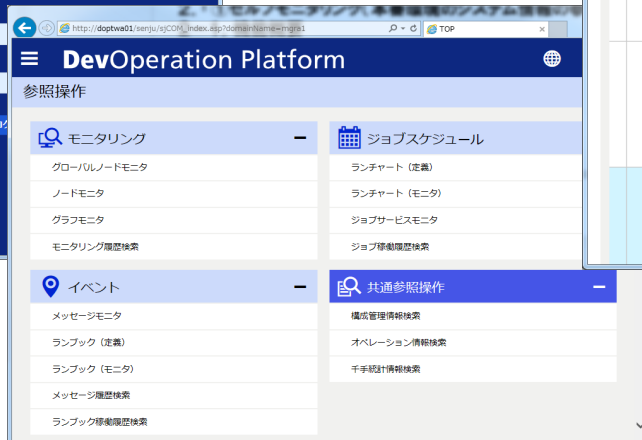


1. mPLAT/DOP とは

1-3. 機能概要

- イベント情報、モニタリング結果、ジョブ実行情報など、システムの情報を本番環境にアクセスすることなく、リアルタイムに確認。

情報名	内容
イベント情報	イベント（千手メッセージ）一覧、管理対象サーバーの稼働状況や異常の有無を一覧表示。
モニタリング情報	千手にて監視している、OSやAPLの稼働状況、リソース状況をリアルタイムに確認することが可能。
ジョブ実行情報	千手にて実行しているジョブの実行状況をリアルタイムに確認することが可能。
ソフトウェア／パッチ情報	OSに適用されているSW情報を日次で自動取得。脆弱性情報にヒットするパッチの有無の検索、確認が可能。
ログファイル情報	OSやAPLのログファイルや設定ファイルを、オンデマンドに収集し、確認することが可能。



1-3. 機能概要(イベント情報、モニタリング情報)

- 千手メッセージとして出力される、OSやAPLの障害イベント、復旧イベントをリアルタイムに確認。
- イベント（千手メッセージ）一覧、管理対象サーバーの稼働状況や異常の有無を一覧表示。

イベント（千手メッセージ）一覧

http://aquarius.senju/view/evt/sj/Nsf_MagMain.asp

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Senju DevOperation Conductor (Senju family)

参照操作

モニタリング

ジョブスケジュール

イベント

共通の操作

設定変更

メッセージ履歴検索

検索

メッセージ履歴検索結果一覧

検索結果リストのダウンロード

1 - 25 (205件中) << < 1 > >> 表示件数 25 ▾ 列表示 ▾

検索結果表示の最大件数200件を超えました。検索条件を絞ってください。

メッセージID	状態	ノードID	発元元	発生日時	内容	対応種別	マニージャ 到着日時	アクション	ルールID	ドメイン
HISM123	正常	esxi003	esxi004: sjANM_monExtId	2015-10-17 10:43:54	状況監視コマンド実行中のためスキップします。 (ノードID esxi003 監視タスク名 command_監視タスクID 214 監視対象~検査開始2)		2015-10-17 10:43:55		*	esxi004
HISM130	正常	esxi003	esxi004: sjANM_monExtId	2015-10-17 10:41:40	検査開始時に状況監視コマンドが終了したためこのまま停止させました。(ノードID esxi003 監視タスク名 command_監視タスクID 214 監視対象~検査開始2)		2015-10-17 10:41:40		*	esxi004
HISM125	通常	tourney	tourney: sjANM_monExtId	2015-10-17 10:41:19	監視タスクの状態は正常です。(ノードID tourney 監視タスク名 プロセス稼働監視(WinPrivRun)) 監視対象 WinPrivRun(2170) 監視Running通過の監視に成功し、現在 Runnig中であり正常にRunnin		2015-10-17 10:41:20		*	esxi004
HISM124	正常	tourney	tourney: sjANM_monExtId	2015-10-17 10:41:19	監視タスクの状態は異常になりました。(ノードID tourney 監視タスク名 プロセス稼働監視(WinPrivRun) 監視タスクID 181) 監視対象 WinPrivRun(2170) 監視Running通過に監視失敗のため、現在停止した監視対象が無くなりま		2015-10-17 10:41:20		*	esxi004
			bosporus-000000 00000000		プロセスが起動しました。(ノードID monitoring000000 監視タスク名 プロセス					

メッセージ情報を蓄積しているので、
過去分含めて参照可能。

モニタリング（リソース状況/検索）

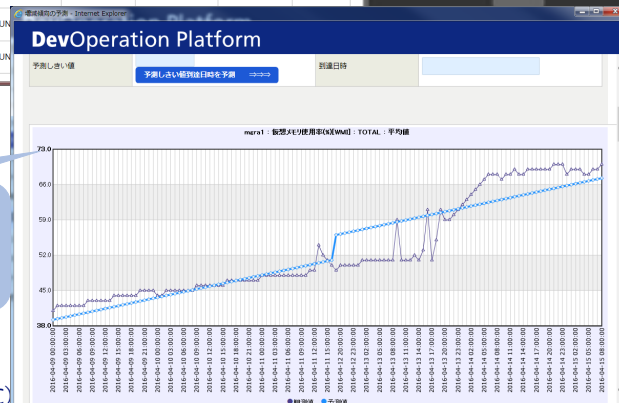
モニタリング履歴検索結果一覧

検索結果リストのダウンロード 増減傾向の予測

1 - 25 (57 件中) << < 1 > >> 表示件数 25 列表示

取得日時	ノードID	監視タスクID	監視タスク名	カテゴリ名	エクステンション名	監視対象名	値
2018-05-10 00:00:00	mgrb1	1	CPU使用率(%JUNIX)	システム情報	システム情報	TOTAL	8
2018-05-10 01:00:00	mgrb1	1	CPU使用率(%JUNIX)	システム情報	システム情報	TOTAL	7
2018-05-10 02:00:00	mgrb1	1	CPU使用率(%JUNIX)	システム情報	システム情報	TOTAL	7
2018-05-10 03:00:00	mgrb1	1	CPU使用率(%JUNIX)	システム情報	システム情報	TOTAL	7
2018-05-10 04:00:00	mgrb1	1	CPU使用率(%JUNIX)	システム情報	システム情報	TOTAL	6
2018-05-10 05:00:00	mgrb1	1	CPU使用率(%JUNIX)	システム情報	システム情報	TOTAL	7
2018-05-10 06:00:00	mgrb1	1	CPU使用率(%JUNIX)	システム情報	システム情報	TOTAL	7
2018-05-10 07:00:00	mgrb1	1	CPU使用率(%JUNIX)	システム情報	システム情報	TOTAL	7

蓄積した監視結果を元にグラフ表示可能



1-3. 機能概要(グローバルノードモニタ、ノードモニタ)

- ## グローバルノードモニタ



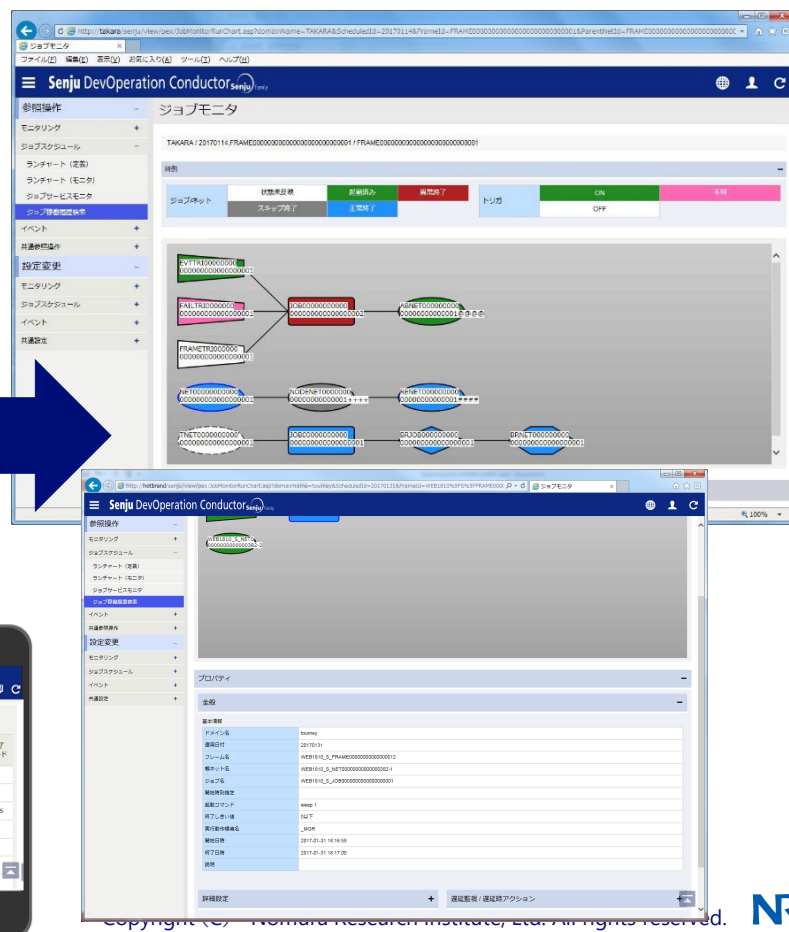
1-3. 機能概要(ジョブ実行情報)

- ## ジョブレポート（ジョブ稼働状況一覧）

ジョブモニタ

ジョブ／ネットをクリック

過去のジョブ稼働実績も含めて
参照可能。



1. mPLAT/DOP とは

1-3. 機能概要(ソフトウェア／パッチ情報)

- 導入されているソフトウェアの情報を確認可能
- ソフトウェア名称やバージョンで検索することにより、脆弱性対応の要否を確認可能

ソフトウェア／パッチ情報一覧

The screenshot displays the 'Senju DevOperation Conductor' web application. The main interface is titled 'ソフトウェア／パッチ情報検索結果一覧' (Software/Patch Information Search Results List). It features a search filter section at the top with dropdown menus for 'ソフトウェア／パッチ情報名称' (SQL), 'バージョン' (empty), and '取得日時' (取得日時), along with radio buttons for '部分一致' (Partial Match) and '完全一致' (Exact Match). Below the filters are '検索' (Search) and 'リセット' (Reset) buttons. The search results are displayed in a table with columns: '取得日時' (Acquisition Date), 'ノードID' (Node ID), 'ソフトウェア／パッチ情報名称' (Software/Patch Information Name), 'バージョン' (Version), and 'ドメイン' (Domain). The table shows 33 results, with the first few rows visible. A blue callout box points to the 'ダウンロード' (Download) button, stating '検索結果リストのダウンロード' (Download search results list). Another blue callout box points to the table, stating 'ノード毎に導入されているソフトウェア情報を一覧表示' (Display software information installed on each node in a list). A third blue callout box points to the 'ダウンロード' button, stating '検索結果をファイルダウンロード' (Download search results as a file). An inset window shows the downloaded file 'CcmReportSwPvInfo.txt' in a text editor, displaying a list of software/patch information for each node, including details like 'Microsoft SQL Server 2008 R2 (64 ビット)', 'Microsoft SQL Server 2008 R2 Native Client', 'Microsoft SQL Server 2008 R2 Policies', 'Microsoft SQL Server 2008 R2 Setup (日本語)', 'Microsoft SQL Server 2008 セットアップ サポート ファイル', 'Microsoft SQL Server Browser', 'Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 JPN', 'Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 Query Tools JPN', and 'Microsoft SQL Server System CLR Types (x64)'.

取得日時	ノードID	ソフトウェア／パッチ情報名称	バージョン	ドメイン
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server 2008 R2 (64 ビット)		esxbx004
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server 2008 R2 Native Client	10.53.6000.34	esxbx004
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server 2008 R2 Policies	10.50.1600.1	esxbx004
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server 2008 R2 Setup (日本語)	10.53.6000.34	esxbx004
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server 2008 セットアップ サポート ファイル	10.1.2731.0	esxbx004
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server Browser	10.53.6000.34	esxbx004
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 JPN	3.5.8080.0	esxbx004
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server Compact 3.5 SP2 Query Tools JPN	3.5.8080.0	esxbx004
2016-11-06 02:00:00	arena	Microsoft SQL Server System CLR Types (x64)	10.53.6000.34	esxbx004

1. mPLAT/DOP とは

1-3. 機能概要(ログファイル情報)

- OSやAPLのログファイルや設定ファイルを、オンデマンドに確認することが可能
- 千手マネージャ、千手エージェントの各ノードで参照可能なパスを設定し、ファイルを検索して参照が可能

ログファイル情報一覧

Senju DevOperation Conductor

admin@b230mgr

参照操作

ファイル参照

条件指定

ノードID: wi230adw

ノード名: wi230adw

OS種別: WINNT

現在のパス: C:\Windows\System32\drivers\etc

絞り込み文字列

最大表示数: 100

新しい順

1つ上へ

一覧取得

一覧

ディレクトリを表示

ファイルを表示

リンクを表示

名称フィルタ

列表示

種別	名称	サイズ(Byte)	更新日時
ファイル	hosts.senju.org	1300	2023-05-10 09:24
ファイル	hosts	1300	2023-05-10 09:24
ファイル	networks	407	2021-05-08 17:18

ノード、パスを
指定しファイル
を選択

ファイル表示確認

表示ファイル: /var/log/messages

絞り込み文字列

末尾からの表示行数: 500

文字コード: 指定しない

表示

ファイル参照確認

ファイル/パス: C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts

☒ 右端で折り返す

```
1 # Copyright (c) 1993-2009 Microsoft Corp.
2
3 This is a sample HOSTS file used by Microsoft TCP/IP for Windows.
4
5 This file contains the mappings of IP addresses to host names. Each
6 entry should be kept on an individual line. The IP address should
7 be placed in the first column followed by the corresponding host name.
8 The IP address and the host name should be separated by at least one
9 space.
10
11 Additionally, comments (such as these) may be inserted on individual
12 lines or following the machine name denoted by a '#' symbol.
13
14 For example:
15
16 # 102.54.94.97 rhino.acme.com # source server
17 # 38.25.63.10 x.acme.com # x client host
18
19 # localhost name resolution is handled within DNS itself.
20 # 127.0.0.1 localhost
```

01

mPLAT/DOP とは

02

導入効果事例

2. 導入効果事例

■ mPLAT/DOP導入による効果事例

①コール対応スピードアップ

- 平日日中のコール対応
- 夜間・休日のコール対応(既知障害)
- 駆けつけ対応(未知障害)

②定常業務負荷軽減

- リリース前準備

③定性効果

- 統制強化
- 異なる拠点間での情報共有
- 過去情報の活用
- 障害対応力UP

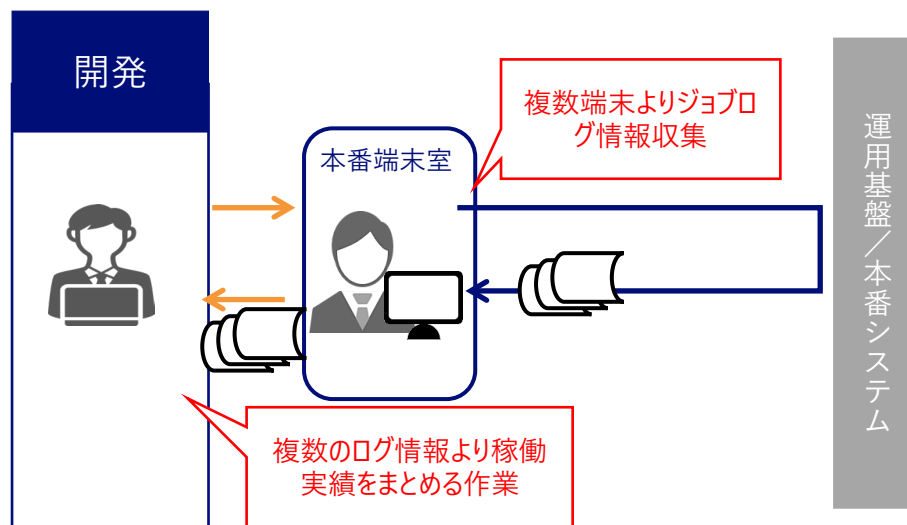
①コール対応スピードアップ～平日日中のコール対応～

2. 導入効果事例

②定常業務負荷軽減～リリース前準備～

■ 影響調査時に必要となるジョブ稼働実績情報の取得～整理を90分スピードアップ。

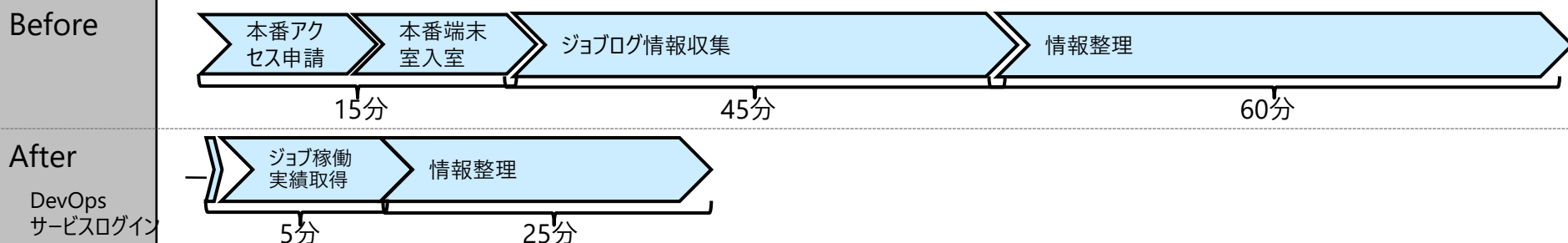
■ 現状



■ 導入後



リリース前準備



2. 導入効果事例

③定性効果

■「コール対応スピードアップ」、「定常業務負荷軽減」に加え、以下の「定性効果」もあり。

No	効果	内容
1	統制強化	本番アクセスの頻度削減によりセキュリティリスクを軽減。 (削減対象業務：障害状況確認、環境変更事前調査など)
2	異なる拠点間での 情報共有	パートナーが別拠点の本番端末室へ駆けつけずとも、 パートナー拠点にて障害状況を確認・共有可能。
3	過去情報の活用	過去のジョブ稼動実績のナレッジ活用。
4	障害対応力UP	複数メンバーが同時に状況把握・調査が可能。 いつでもどこからでも簡単に確認可能という心理面での余裕・安心感を得られる。

